

# 一般質問発言通告書

発言順位 11 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和7年6月10日

三島市議会議長 堀江和雄様

三島市議会議員 7番 石井真人

## 質問事項1 令和7年5月改訂の長期財政計画について

具体的な内容 本年5月末に長期財政計画が改訂された。3年前（令和4年5月改訂）の長期財政計画に比べて、令和7～32年度までの歳入合計で約2,061億円増、歳出合計で約1,743億円増となり、わずか3年の間に大幅な金額差が見られた。そこで以下に伺う。

- 1 長期財政計画の3年間で大幅に歳入が変化した要因は何か。また、国や県の依存財源の増加額は総額でいくらになるか。計画は、希望的観測でなく歳入は根拠ある財源が担保されているのか。他市の財政計画も同様に歳入に関して大幅な伸びがあるのか。
- 2 起債計画の追加事業が、令和14年以降の数字はゼロとなっており、跡地利用等に追加投資をしない前提の計画か。追加事業として一定額の予算を確保しない理由は。また、償還計画に関し金利水準が3年前よりも高騰する中で、起債の将来の金利水準を下げた予測をした理由は。
- 3 3年前の歳入予測（R4）を用いて今回改訂の歳出（R7）との差し引きをすると、総額1,584億円の大幅赤字となる。歳入が伸びず実際は財政赤字となった場合、不足をどのように対処するか。
- 4 再開発の資金計画において国と県からの補助額に減額があった場合の不足分の財政負担は。
- 5 新庁舎や再開発の追加費用、米価の高騰による食材の追加費用などの今後の歳出高騰のリスクに対して、予備費的なリスクを回避のための資金計画は含まれているか。その金額は。

## 質問事項2 三島市における学校給食の考え方

具体的な内容 三島市は完全米飯給食を実施しており、今後、米価の高騰において学校給食費の負担増の影響を避けられない可能性がある。そこで、以下に伺う。

- 1 去年の2倍程度の米価高騰が続く中で、学校給食費に与える影響は、年間総額いくら増額になるか。増額分の負担は、三島市なのか保護者なのか、保護者の更なる負担増の可能性は。
- 2 学校給食は1食あたりの金額が定められており、最も安価な食材提案が採用される傾向はないか。その際、低価格での入札時の場合、食材の品質の裏付けは行っているのか。現状、仕様の記載が大まかなため粗悪な品質の原材料でも仕様適合と判断される可能性があることから、踏み込んだ品質確認が必要であり、仕様書に細かく記載する事も考えられるがいかが。
- 3 本年実施予定の農薬を使わずに育てた米での1日給食を通して、オーガニック給食実施への課題と継続性及び「オーガニックビレッジ宣言」に向けた昨年2月の答弁からの1年間の研究成果と伊豆の国市などと比較して三島市にとっての課題は。
- 4 学校給食における地域の食の安全保障のために、地元産米や野菜の地産地消の割合を増やし、学校給食の価格安定と安心できる食材の供給量確保への考え方。
- 5 食材費が高騰する中での学校給食への予算確保と品質担保のバランスについて食育を含めたこどもまんなか×みしまウェルビーイング政策における三島市の将来ビジョンは。